

5 本時の学習指導（6 / 6 時間）

(1) 基礎・基本

身の回りの事象を目的に応じて折れ線グラフに表す。
2つの事象の折れ線グラフから傾向や特徴をよみ取る。

(2) 目標

世界の国の年間気温の特徴や傾向がわかりやすく表せるように工夫して折れ線グラフをかき
ことを通して、折れ線グラフのよさを感じとることができる。

(3) 学習指導過程

学習活動	児童の意識の流れ	教師の支援活動
1. 本時の学習について確認する。	世界の国々の気温を折れ線グラフに表し、変化の様子を比べよう。	・同級生の出身国の気温等の素材を使うことで学習の意欲化を図る。
2. 自分がまとめた表をもとに日本と外国の気温の変化を折れ線グラフにかく。	まず、表題をつけよう。 横軸には、月をとろう。 縦軸には、気温の目盛りをかこう。 毎時間の記録をまちがえないように点をうっていきこう。 ものさしでまっすぐ点をつないでいきこう	①日本や外国の折れ線グラフをかいたりよんだりできたか。 自力でかけない児童には、作業の進んだ児童のグラフを見に行くよう助言したり、縦軸の目盛りの入った用紙を渡したりする。 早くかき終えた児童には、2つのグラフを比べ気温の違いによる変化の様子を考察するよう助言する。 よみ取れない児童には、折れ線のカーブを指でなぞらせ、比べられるよう支援する。
3. できた折れ線グラフを見て変化の様子や特徴を話し合う。	日本は夏が高く、山形に変化している。 ・3月から4月の間のふえ方が一番大きい。	・「夏と冬の気温の違い」というように比較する項目を限定することで変化をよみ取ろうとする意欲を高める。
4. 外国の気温の変化を上から書き込み新たに分かることや比べるよさを話し合う。	外国の気温も上から記入してみよう。	— 表現力育成のために — 1本のグラフの発言と2本のグラフを比較した発言を整理したり、2本の方がよかった点をグラフを指しながら説明したりすることで数学的な考え方を育て話し合いを深める。
4. 外国の気温の変化を上から書き込み新たに分かることや比べるよさを話し合う。	・ペルーは、日本と逆で夏が低く冬は、高いんだな。 ・ハワイの気温は変化がないよ。 ・1年間の気温の変化は国によってちがうんだな。 ・折れ線グラフは生活に役立つな。	・同じ座標軸の上で比べられるという折れ線グラフのよさを一般化するため、3つ目の情報、ハワイの気温の変化を例にあげる。
5. 「分かったよカード」に感想を書く。	・折れ線グラフに表すと、今まで気付かなかったが分かってきておもしろいよ。2つの折れ線グラフを比べると、もっと関係や変化がはっきりするんだな。	②2つの折れ線グラフを比べてみるよさに気付き、関係を正しくよみ取れたか。 比較しにくい児童には、ある月を例にとり、グラフの見方を個別指導する。 必要性に気付き全体的な特徴を正しくよみ取れた児童には、掲示用「分かったよ」カードに書くよう助言する。

(4) 評価

- ・よくできる：2つの折れ線グラフを自力でかいたり、比較してみるよさが分かり、新たに見つけた関係を進んで説明したりできる。(発表・分かったよカード・グラフ)
- ・できる：2つの折れ線グラフをかいたり、友達の考えを聞いたりして、2つのグラフを見比べるよさに気付くことができる。